

登録コード	L1541201	開講年度	2026				
担当教員	今井 章			副担当			
授業科目	心理学特殊実験						
英文授業名	Psychology: Advanced Experiments						
授業タイトル	心理学特殊実験						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・1時限 水曜・2時限
講義室	人文205 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加わらぬ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力が身につくようになる。			
	【2022年度以前加わらぬ対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力が身につくようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加わらぬ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学が身につくようになる。			
	【2023年度以降加わらぬ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	各受講生が自ら決めた研究テーマを実証的に検討するため、そのテーマに関連する文献の講読・発表を行ない、それらをもとに各自の実験・調査の計画を立て、仮説検証的に実験・調査を行ないデータを取得し、それを論文としてまとめ、最終的にその論文について発表を行い討論する。 なお、受講生は授業時間以外にも適宜、教員の指導を受ける。						
授業計画	第1週 - 第11週 心理学特殊実験（心理学実験）で立案した実験計画書に基づき、どのように実験・調査しているかを報告しつつ、平行して実験・調査を進める。12月初旬までに、論文としてまとめて提出する。 第12週 - 第14週 提出された論文に沿って、実験・調査の結果を発表し、議論する。問題点を指摘された場合は、データ追加のための再実験と再分析を行い、論文を書き直して再提出する。 第15週 まとめと授業アンケート 定期試験なし						
成績評価の方法	授業での発表内容(40%)、および期末に提出する論文(60%)を総合して、心理学における実証科学的な手法を体得したかを評価する。						
成績評価の基準	授業での討論に毎回、的確に参加し、提出された特殊実験論文の内容が極めて優れている場合は『卓越している』、討論に3/4程度、的確に参加し、論文の内容がかなり優れている場合は『かなり上にある』、討論に2/4程度、的確に参加し、論文の内容がやや優れている場合は『やや上にある』、討論に1/4程度、的確に参加し、論文の内容がその水準にある場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	レポーターとしての発表と、各自の論文執筆のための入念な事前学習(3時間)が必要である。授業内で議論され、指摘された点は事後学習(1時間)の材料とし、それらを踏まえた論文を作成する。						
履修上の注意	受講は心理学基礎実験・（心理的アセスメント）、および心理学特殊実験（心理学実験）を履修済みの心理学・社会心理学コース心理学系の学生に限る。心理学系で卒業論文を書く予定の者は必ず履修する必要がある。						
質問、相談への対応	木曜日の12:30～13:30のオフィスアワーにて対応する。事前にメール(imaiakr@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。						
教科書	使用しない。						
参考書	●J. L. アンドレアッシ著 今井章監訳（2007/2012）. 心理生理学 北大路書房 7,700円（税込） ●市原茂・阿久津洋巳・石口彰編 視覚実験研究ガイドブック 朝倉書店 7040円（税込） ●日本心理学会編著（2015）. 日本心理学会執筆・投稿の手びき(2015年改訂版) 社団法人日本心理学会 500円（税込） その他、授業時に随時伝える。						